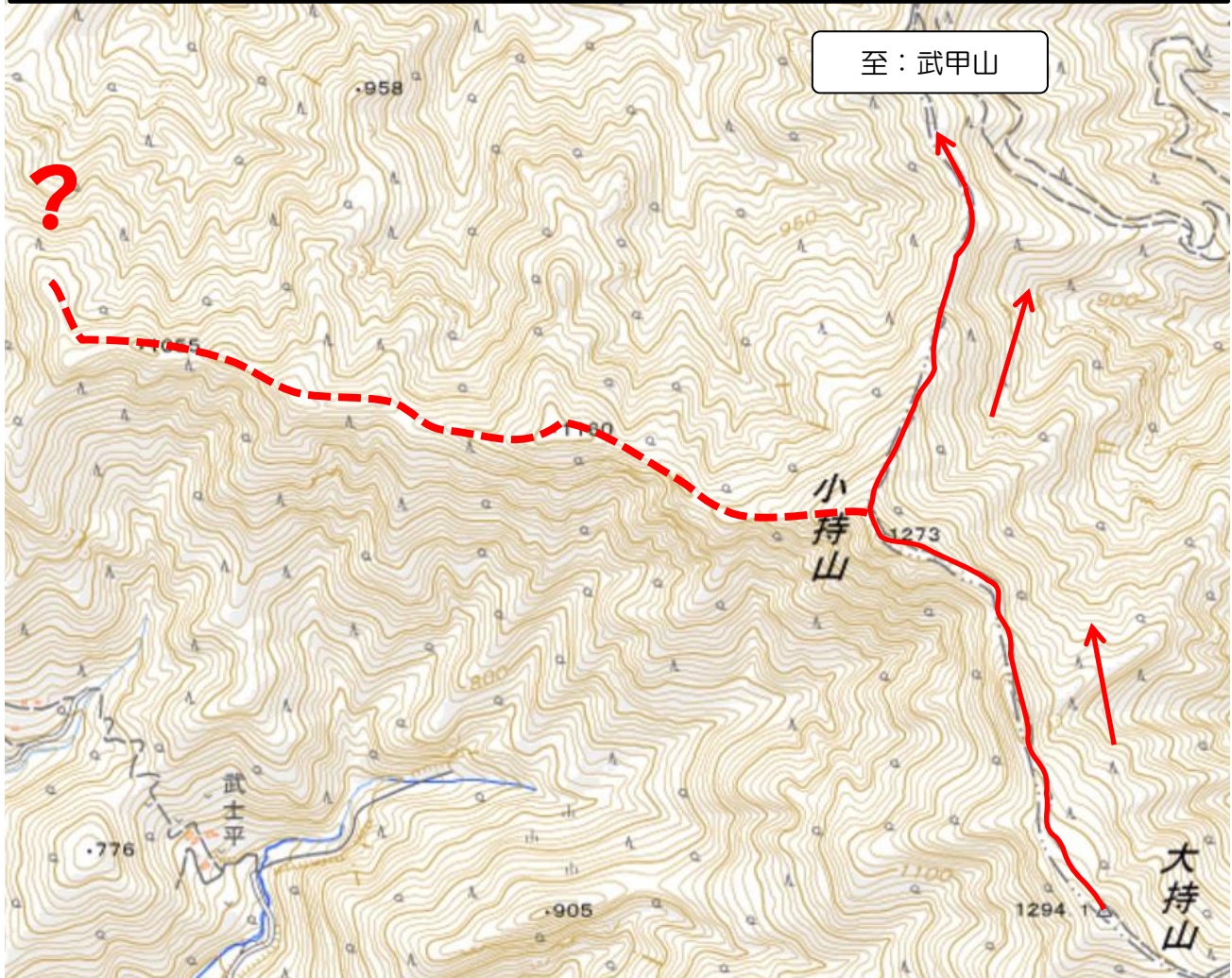


小持山遭難(2022年6月)

70歳代男性。小持山からの下山で道を間違え滑落、救助要請し事なきを得た。



解説

小持山(横瀬町)において70代男性が道迷いの末に滑落してしまう山岳遭難が発生しました。遭難者は、小持山山頂付近で下山方向を誤り、道に迷っていることから、今回、道迷いの基点となった場所をご紹介します。参考にしてください。(HP参照)

ピークからの下りで違う方向に進んでしまう、典型的な道迷いのパターン。残念ながらこのパターンは非常に多い。大持山から小持山への進行方向そのままに進むと予定ルートとは違った尾根に進んでしまうので、「小持山では進行方向が北に向きを変える」という先読みをしないとイケない。

この事例では、小持山からしばらく尾根上をアップダウンするのでルート間違えに気づかなかったのかもしれない。他の事例では、急に尾根を下ってどんどん標高を下げて「あれっ？おかしい？」と思っても進んでしまう事例もあるので道迷いの心理はとても不思議だ。

ピークでは、コンパスで進行方向を確かめるぐらいの先読みをしてほしい。また、地図アプリで現在位置を確認することもよいと思っている。大切なのは、絶えず現在位置を把握しながら登山を行うことだと思う。安全登山を心がけてほしい。